

# INFORMATION [期間：平成24年-25年]

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/33005">http://hdl.handle.net/2297/33005</a>

## INFORMATION

【期間：平成24年～25年】

### Global Epidemiology of Inflammatory Bowel diseases (IBD)

オスロ大学疫学教授 Morten H. Vatn博士が、大阪での国際シンポジウムに招待されたのを機会に金沢大学にお招きして、炎症性腸疾患の機構とその疫学について特別講演をしていただいた。

日 時：10月29日（月）18：00～19：00

場 所：G棟2階 第四講義室

演 題：「Global Epidemiology of Inflammatory Bowel diseases (IBD)」

演 者：Morten H. Vatn, Professor of Clinical Epidemiology, The University of Oslo, Norway

### 第23回 Neuroscience Seminar

「神経変性疾患におけるVCP蛋白質の役割」

京都大学大学院 生命科学研究科・高次生体統御学分野 垣塚 彰 教授

日 時：平成24年10月30日（火）18時30分～19時30分

場 所：金沢大学医学部F棟1階 修士課程セミナー室

このたび、京都大学大学院生命科学研究科・高次生体統御学分野教授の垣塚 彰先生をお招きしてセミナーを開催致します。垣塚先生は、神経科学の分野では遺伝性脊髄小脳変性症の原因遺伝子を発見され、ポリグルタミン病の概念を提唱された方としてご高名ですが、最近抗肥満・抗糖尿病作用をもつERL1遺伝子の同定など、多方面で業績をあげられています。今回、学部学生の特別講義のために金沢にお越しいただく機会に御講演をお願いいたしました。大変興味深いお話を拝聴できるものと思います。どうぞお気軽に御参加ください。

### 第4回 日本－韓国 国際交流シンポジウム：医学・医療の最新進歩

日 時：2012年11月7日（水）午前8時50分から

場 所：金沢大学医学部記念館

世話人：金沢大学子どものこころの発達研究センター 東田陽博

金沢市の友好都市である全州市にあり、医学研究科と学部間交流協定している韓国・全北（チョンブク）国立大学の5名の先生方をお招きして、金沢大学の9名の講演等を予定し、両校における最新の医学・医療についての講演会を開く。併せて、自閉症についてのミニシンポジウムも催す。

### 過睡眠の病態生理

米国スタンフォード大学医学部精神科・睡眠生体リズム研究所所長の西野精治博士をお招きして特別セミナーを開催。

内容は睡眠障害、そのなかでも特に過睡眠症の病態生理の最新トピック。

演 題：過睡眠の病態生理

演 者：西野精治博士 米国スタンフォード大学医学部精神科教授・睡眠生体リズム研究所所長

日 時：2012年11月7日（水）午後5時半～6時半

場 所：F棟1階 修士課程セミナー室

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系 血管分子生物学（TEL/FAX）076-265-2181/076-234-4217

### 金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は、7-8、1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回、疫学・統計解析、アレルギー・内分泌代謝研究、社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず、どなたでも参加できます。

入場は無料で、事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学教室

TEL：076-265-2218, hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp ホームページ <http://publichealth.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

11月8日（木）18：00～18：30 中村裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授）

「論文がアクセプトされるための統計学 入門編」

18：30～19：30 堀口 優（金沢社会保険病院健康管理センター センター長）

「古くて新しい じん肺について」

## 高安賞創設10周年・臼井国際奨学金創設5周年記念シンポジウム

日 時：平成24年11月10日(土) 午後1時～5時

場 所：医学類G棟 第4講義室

内 容：①これまでの高安賞授賞者の中から9名，臼井国際奨学金授与者の中から1名を招聘し，最近の研究活動等について発表を行い，受賞者等の交流を深める。

②東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授 磯部光章氏を招聘し，「高安病：臨床と研究の現況」のテーマで講演を行う。

## 神経分子標的学セミナー

演 題：損傷神経の生存と軸索再生の形態学と分子基盤

演 者：木山博資先生（名古屋大学大学院医学系研究科 機能組織学(解剖学第二)）

日 時：平成24年11月19日(木) 18時から19時まで 場 所：金沢大学医学類 第2講義室

問い合わせ先：金沢大学医薬保健研究域医学系 神経分子標的学(第3解剖) 堀 修

TEL：265-2162, E-mail：osamuh3@staff.kanazawa-u.ac.jp

木山先生は損傷運動ニューロンの再生あるいは変性に関する研究で日本をリードされている方です。本セミナーでは，損傷後の運動ニューロンの生存や軸索再生の過程で見られるダイナミックな形態変化と，この過程で関与する分子群の動態についてについて解説して頂きます。

## 第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会を2012年11月23日(金)・24日(土)，福井県福井市「フェニックス・プラザ」等にて開催いたします。「チーム医療のさらなる展開を求めて」というテーマをかかげ，質の高いチーム医療をいかに実施していくかを模索する盛りだくさんのプログラムを準備しています。

一般演題数は過去最多の451題です。招請講演者はCOPDの成因に肺血管内皮細胞アポトーシス仮説提唱者のVirginia commonwealth大学のN.F.Voelkel教授，NPPV療法第1人者の英国National Heart & Lung Institute, Imperial College London, Respiratory and Sleep Medicine & Royal Brompton HospitalのA.K. Simonds教授，呼吸器疾患チーム医療を推し進めておられる英国の呼吸器専門看護師(Respiratory nurse consultant)のJ Scullion先生の3名です。

シンポジウム，ワークショップ，教育講演，ランチョンセミナーはいずれもチーム医療がテーマです。特別企画として，若手医師を含む医療従事者を対象に，「胸部身体所見，胸部画像読影，吸入療法」を準備しています。「3学会合同呼吸療法認定士」資格更新および日本呼吸器学会認定「呼吸器専門医」資格更新のための単位取得ができます。近年では北陸初の全国レベルの呼吸器疾患学術集会ですので沢山のご参加をお待ちします。

## 脳情報分子学セミナー

テーマ：体液恒常性の脳内機構

講演者：野田 昌晴先生（基礎生物学研究所 統合神経生物学研究部門・教授）

開催日時：平成24年12月7日(金) 午後5時30分～

開催場所：金沢大学医学類 G棟 第4講義室

講演内容：体液中のNaレベルの維持（Na恒常性）は生命の維持に不可欠であり，体液のNaレベルと浸透圧は脳の中で常に監視されている。Naチャンネルの一つNaxは，脳の中で血液脳関門を欠く感覚性脳室周囲器官のグリア細胞に発現し，in vitroでは細胞外Naレベルが約150 mMを越えると開口する。我々は，最近，原因不明の本態性高Na血症の患者の血清中にNaxを認識する自己抗体が存在しているケースを見出した。この患者は，神経節細胞腫が見つかり摘出したが，その後も血中Naレベルが高いにもかかわらず口渇感がなく，抗利尿ホルモン（バソプレッシン）も異常に低値であった。このケースは，腫瘍の形成によってNaxに対する自己抗体の産生が誘発され，感覚性脳室周囲器官における持続的組織傷害の結果，高Na血症が発症した（腫瘍随伴性神経疾患）と推察された。

## 第83回日本衛生学会学術総会

第83回日本衛生学会総会は，平成25年3月24日から3月26日の3日間，金沢大学鶴間・宝町キャンパスと金沢美術工芸大学のキャンパスで両大学の協賛を受けて開催されます。金沢における衛生学会の開催の歴史を振り返りますと，昭和19年に大谷佐重郎先生，昭和45年に石崎有信先生，平成6年に岡田晃先生が会長を務められておられます。19年ぶりに金沢大学で開催することになります。

本学会は，生活・環境・健康管理の現場に根ざし，基礎研究から実学的な研究活動に関する社会医学の推進の母体として大きな役割を果たしてきました。昨年の東日本大震災およびその後の原発事故による放射能汚染という甚大な被害を経験し，改めて環境保健と予防医学を基盤に本学会の役割を確認したいと思っています。その思いを込めて，今総会のメインテーマを，「生を衛る学問の使命－環境と暮らしの再生を目指して－」としました。さらに，前学会で掲げられた「社会医学のグローバル化」についても引き続き追究していきたいと思っています。

第83回日本衛生学会学術総会 会長 城戸 照彦（金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授）